

にいたり、
集団活動)は、グル
ープ活動と個人の力を伸
ばし活気ある職場づく
りを狙いに展開してお
り、テーマは品質、安

内で開催し、約25社4
00人が参加した。
神鋼とグループ会社
表を実施。14日午後か
合わせて27件の事例発

現化するものであ
り、現場の第一線で奮
闘するメンバー一人一

勝は松崎晃介氏(君津
製鐵所、山九所属)、3
位は重藤拓也氏(八幡
製鐵所、日鉄住金テッ
クスエンジ所属)とな
った。相浦氏は仕上、
工事、鉄工部門でオーナー
100点を取り、旧スロ
ン大会の結果を発表し、相浦一輝氏(八
幡製鐵所、設備部所属)
が総合優勝した。準優

トピー工業は14日、
災害時に備えた「徒歩
帰宅体験」を行つたと
発表した。本社(東京都品川区)勤務者を対象とし、同社では初めての実施。

対象者への事前説明会と帰宅支援マップの配布を行つたうえで、当日は約80人が参加。受付とミニラルウォーターの配布後、午後1時30分からの3時間で新日本製鐵時代を含め史上初となる全部門で部門賞を獲得する快挙を成し遂げた。

トピー工業は14日、災害時に備えた「徒歩帰宅体験」を行つたと発表した。本社(東京都品川区)勤務者を対象とし、同社では初めての実施。

加古川製鐵所の薄板部
熱延室、西条工場の製
造室が選ばれたほか、各表彰が行われた。

佐々木朗社長㊧

10日の伝達式で日本赤

社東京支店に置く。

団体は1000万円以

ての寄付を行つた。

上での寄付が対象にな

る。

トの確認を行い、各自

の疲労度や移動可能距

離を把握。徒歩帰宅が

必要となつた場合のル

ートと距離を体験し、

有事の際の備えと防災

意識の向上を図つた。

終了直後には参加者に

に対するメールでの安否

確認訓練も行つた。

10月の伝達式で日本赤

社東京支店に置く。

団体は1000万円以

ての寄付を行つた。

上での寄付が対象にな

る。

トの確認を行い、各自

の疲労度や移動可能距

離を把握。徒歩帰宅が

必要となつた場合のル

ートと距離を体験し、

有事の際の備えと防災

意識の向上を図つた。

終了直後には参加者に

に対するメールでの安否

確認訓練も行つた。

10月の伝達式で日本赤

社東京支店に置く。

団体は1000万円以

ての寄付を行つた。

上での寄付が対象にな

る。

トの確認を行い、各自

の疲労度や移動可能距

離を把握。徒歩帰宅が

必要となつた場合のル

ートと距離を体験し、

有事の際の備えと防災

意識の向上を図つた。

終了直後には参加者に

に対するメールでの安否

確認訓練も行つた。

10月の伝達式で日本赤

社東京支店に置く。

団体は1000万円以

ての寄付を行つた。

上での寄付が対象にな

る。

トの確認を行い、各自

の疲労度や移動可能距

離を把握。徒歩帰宅が

必要となつた場合のル

ートと距離を体験し、

有事の際の備えと防災

意識の向上を図つた。

終了直後には参加者に

に対するメールでの安否

確認訓練も行つた。

10月の伝達式で日本赤

社東京支店に置く。

団体は1000万円以

ての寄付を行つた。

上での寄付が対象にな

る。

トの確認を行い、各自

の疲労度や移動可能距

離を把握。徒歩帰宅が

必要となつた場合のル

ートと距離を体験し、

有事の際の備えと防災

意識の向上を図つた。

終了直後には参加者に

に対するメールでの安否

確認訓練も行つた。

10月の伝達式で日本赤

社東京支店に置く。

団体は1000万円以

ての寄付を行つた。

上での寄付が対象にな

る。

トの確認を行い、各自

の疲労度や移動可能距

離を把握。徒歩帰宅が

必要となつた場合のル

ートと距離を体験し、

有事の際の備えと防災

意識の向上を図つた。

終了直後には参加者に

に対するメールでの安否

確認訓練も行つた。

10月の伝達式で日本赤

社東京支店に置く。

団体は1000万円以

ての寄付を行つた。

上での寄付が対象にな

る。

トの確認を行い、各自

の疲労度や移動可能距

離を把握。徒歩帰宅が

必要となつた場合のル

ートと距離を体験し、

有事の際の備えと防災

意識の向上を図つた。

終了直後には参加者に

に対するメールでの安否

確認訓練も行つた。

10月の伝達式で日本赤

社東京支店に置く。

団体は1000万円以

ての寄付を行つた。

上での寄付が対象にな

る。

トの確認を行い、各自

の疲労度や移動可能距

離を把握。徒歩帰宅が

必要となつた場合のル

ートと距離を体験し、

有事の際の備えと防災

意識の向上を図つた。

終了直後には参加者に

に対するメールでの安否

確認訓練も行つた。

10月の伝達式で日本赤

社東京支店に置く。

団体は1000万円以
ての寄付を行つた。
上での寄付が対象にな
る。

トの確認を行い、各自

の疲労度や移動可能距

離を把握。徒歩帰宅が

必要となつた場合のル

ートと距離を体験し、

有事の際の備えと防災

意識の向上を図つた。

終了直後には参加者に

に対するメールでの安否

確認訓練も行つた。

10月の伝達式で日本赤

社東京支店に置く。

団体は1000万円以
ての寄付を行つた。
上での寄付が対象にな
る。

トの確認を行い、各自

の疲労度や移動可能距

離を把握。徒歩帰宅が

必要となつた場合のル

ートと距離を体験し、

有事の際の備えと防災

意識の向上を図つた。

終了直後には参加者に

に対するメールでの安否

確認訓練も行つた。

10月の伝達式で日本赤

社東京支店に置く。

団体は1000万円以
ての寄付を行つた。
上での寄付が対象にな
る。

トの確認を行い、各自

の疲労度や移動可能距

離を把握。徒歩帰宅が
必要となつた場合のル
ートと距離を体験し、
有事の際の備えと防災
意識の向上を図つた。

終了直後には参加者に
に対するメールでの安否
確認訓練も行つた。

10月の伝達式で日本赤
社東京支店に置く。

団体は1000万円以
ての寄付を行つた。
上での寄付が対象にな
る。

トの確認を行い、各自

の疲労度や移動可能距

離を把握。徒歩帰宅が
必要となつた場合のル
ートと距離を体験し、
有事の際の備えと防災
意識の向上を図つた。

終了直後には参加者に
に対するメールでの安否
確認訓練も行つた。

10月の伝達式で日本赤
社東京支店に置く。

団体は1000万円以
ての寄付を行つた。
上での寄付が対象にな
る。

トの確認を行い、各自

の疲労度や移動可能距

離を把握。徒歩帰宅が
必要となつた場合のル
ートと距離を体験し、
有事の際の備えと防災
意識の向上を図つた。

終了直後には参加者に
に対するメールでの安否
確認訓練も行つた。

10月の伝達式で日本赤
社東京支店に置く。

団体は1000万円以
ての寄付を行つた。
上での寄付が対象にな
る。

トの確認を行い、各自

の疲労度や移動可能距

離を把握。徒歩帰宅が
必要となつた場合のル
ートと距離を体験し、
有事の際の備えと防災
意識の向上を図つた。

終了直後には参加者に
に対するメールでの安否
確認訓練も行つた。

10月の伝達式で日本赤
社東京支店に置く。

団体は1000万円以
ての寄付を行つた。
上での寄付が対象にな
る。

トの確認を行い、各自

の疲労度や移動可能距

離を把握。徒歩帰宅が
必要となつた場合のル
ートと距離を体験し、
有事の際の備えと防災
意識の向上を図つた。

終了直後には参加者に
に対するメールでの安否
確認訓練も行つた。

10月の伝達式で日本赤
社東京支店に置く。

団体は1000万円以
ての寄付を行つた。
上での寄付が対象にな
る。

トの確認を行い、各自

の疲労度や移動可能距
離を把握。徒歩帰宅が
必要となつた場合のル
ートと距離を体験し、
有事の際の備えと防災
意識の向上を図つた。

終了直後には参加者に
に対するメールでの安否
確認訓練も行つた。

10月の伝達式で日本赤
社東京支店に置く。

団体は1000万円以
ての寄付を行つた。
上での寄付が対象にな
る。

トの確認を行い、各自

の疲労度や移動可能距
離を把握。徒歩帰宅が
必要となつた場合のル
ートと距離を体験し、
有事の際の備えと防災
意識の向上を図つた。

終了直後には参加者に
に対するメールでの安否
確認訓練も行つた。

10月の伝達式で日本赤
社東京支店に置く。

団体は1000万円以
ての寄付を行つた。
上での寄付が対象にな
る。

トの確認を行い、各自

の疲労度や移動可能距
離を把握。徒歩帰宅が
必要となつた場合のル
ートと距離を体験し、
有事の際の備えと防災
意識の向上を図つた。

終了直後には参加者に
に対するメールでの安否
確認訓練も行つた。

10月の伝達式で日本赤
社東京支店に置く。

団体は1000万円以
ての寄付を行つた。
上での寄付が対象にな
る。

トの確認を行い、各自

の疲労度や移動可能距
離を把握。徒歩帰宅が
必要となつた場合のル
ートと距離を体験し、
有事の際の備えと防災
意識の向上を図つた。

終了直後には参加者に
に対するメールでの安否
確認訓練も行つた。

10月の伝達式で日本赤
社東京支店に置く。

団体は1000万円以
ての寄付を行つた。
上での寄付が対象にな
る。

トの確認を行い、各自

の疲労度や移動可能距
離を把握。徒歩帰宅が
必要となつた場合のル
ートと距離を体験し、
有事の際の備えと防災
意識の向上を図つた。

終了直後には参加者に
に対するメールでの安否
確認訓練も行つた。

10月の伝達式で日本赤
社東京支店に置く。

団体は1000万円以
ての寄付を行つた。
上での寄付が対象にな
る。

トの確認を行い、各自

の疲労度や移動可能距
離を把握。徒歩帰宅が
必要となつた場合のル
ートと距離を体験し、
有事の際の備えと防災
意識の向上を図つた。

終了直後には参加者に<br